

テレワーク導入企業へのヒアリング調査 導入事例 5

株式会社サジェコ

サービス業

所在地 ● 札幌市西区八軒9条東5丁目1番28号
電話番号 ● 011-788-7505
代表者 ● 代表取締役社長 伊藤 直樹
従業員数 ● 79人
資本金 ● 2,000万円
事業内容 ● ビルメンテナンス、ICT、高齢者・障がい者介護、
家事代行サービス、その他付随事業
URL ● <http://www.sajco.jp>



テレワーカー ICT技術部 飯高 司さん

悪天候や交通事故などリスクを回避し、 時間的コストを減らす

株式会社サジェコでシステムエンジニアとして働く飯高司さんは、週に4日ほど、在宅勤務をしています。飯高さんは石狩市在住ですが「時間的なコストを減らせること」が在宅勤務の大きなメリットだと言います。自社製品のプログラム開発を担当している飯高さんは顧客との連絡業務が多く、「メール一つ送る必要があるとき、そのために片道40分かけて出社するのは負担ですし、通勤時間を仕事にまわせることは有益だと思います」と効果を感じています。

自宅では、兼松コミュニケーションズ社の「DESKTOP+Plus

(デスクトッププラス)」という遠隔操作システムを使い、支給されたPC画面に、会社の自席PCと同様の画面を映し出して仕事をします。自宅のPC端末には情報が残らないため、セキュリティを確保できると言います。

機密情報などが含まれるプログラム作業以外は在宅で行っており、顧客との連絡業務のほかに資料作成や積算作業も行います。飯高さんは「大雪などの悪天候や交通事故など、通勤に伴うリスクとコストを減らすことは会社にとっても潜在的な力になるのではないのでしょうか」と強調します。



代表取締役社長 伊藤 直樹さん

責任あるポジションとPC作業が テレワーク成功のカギ

社会福祉事業を中心に、ビルメンテナンスやICT、高齢者・障がい者介護など幅広い事業を展開する株式会社サジェコ。環境への配慮と業務効率の向上を目的に平成22年頃に在宅勤務制度を導入したものの、在宅勤務をする社員の生産性が落ちてしまい、一度は中止に。代表取締役の伊藤直樹さんは「やり方がわからなかったんです。どうすればうまくいってかかってきて、再度始めることができました」と振り返ります。

テレワーク成功の鍵は、紙が必要なくPCで完結できる作業であること、そして、部下に影響を与えるような責任あるポジションの社員であること、だと分析します。「私も自宅で仕事をすること

がありテレワーカーと言えますが、休める時に休む、という働き方で常に仕事のことが頭にあります。立場があると生産性は落とせません」と話します。また、「労働時間ではなく、成果が評価される仕事」もテレワークに向いていると指摘します。

年度内には就労継続支援A型(※)事業を始める予定で、「いま増えている精神障がいの方は対人関係が苦手であることも多く、在宅勤務が向くと思います。そのための訓練をし、テレワークのツールやノウハウとセットで企業へ送り出す。ここに強みを発揮できるのではないかと考えています」と話し、テレワークのさらなる可能性に意欲を示します。

※就労継続支援A型：企業等に就労することが困難な障がいのある人に対し、一般就労への移行をめざして雇用し、そのための訓練などを行うサービス